

「目指す15の春の姿」に向けて9年間を見通した活動の工夫
～児童・生徒の交流 教職員の交流・連携～

元町北小学校

栄南中学校

栄南小学校

研究内容について

研究内容（１）目指す子ども像の共有 （４）継続的な子ども理解

【目指す15の春の姿 小中一貫した教育で目指す子どもの姿】

「自らが、学びをすすめ、こころを豊かに、たくましく挑戦する児童生徒」

- ・自ら考え、仲間と協力し、主体的に学ぶ児童生徒
- ・仲間を思いやり、自分も大切にする児童生徒
- ・夢や志をもち、その実現に向けて挑戦し続ける児童生徒

具体的な取組

- ◇ 6年生の中学校訪問は、中学1年生との交流と授業見学。6年生の不安を小さくし、中学1年生の育ちを実感する Win-Win な取組
- ◇ HIBIKI-6 手帳を次年度6年生で活用決定。小学校から中学校へ継続した児童生徒理解と自己理解の促進
- ◇ SMSの会など既存の会や組織を基盤にした地域の力を再確認
- 学び
 - ・教職員間の交流（道徳研究、公開授業、教員研修、学校行事、出前授業）
 - ・栄南地区サタデースクールとの連携（吹奏楽、学べんに両小学校参加）
- 子ども理解
 - ・健全育成推進会（2回）、引継ぎ、日常の情報交流
- 仕組みづくり
 - ・SMSの会（S 栄南小学校 M 元町北小学校 S 栄南中学校）
 - ・管理職間交流、担当者会議の実施

これまでの成果(○)と課題(△)、今後の取組(☆)

- PTA・地域の支えの中で各種行事を実施。
- 小学6年生の1年後の育ちを実感した中学校訪問。
- △児童・生徒、教職員の交流をより進めるなどして、教職員の意識改革。
- △各校の要望に応じた交流（部活動、学びの手だて、出前授業、保護者説明など）
- ☆HIBIKI-6（手帳指導）など連携可能な活動の整理と実践の深化。
- ☆「15の春の姿」を想像可能にする合唱指導見学や部活動見学などの取組実施。